

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
日本工学院専門学校		昭和51年7月1日	千葉 茂		〒144-8655 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 片柳学園		平成25年3月1日	片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111		
目的	急速に変化し続けるIT業界の中で活躍できる高いスキルを身につけ、ビジネスで即戦力となる人材を育成。企業が求めるITスキル・ヒューマンスキル・ビジネススキルの3つの期待に応えるためインターンシップやPBL (Project Based Learning) などの体験型授業を通じ、マネジメント能力や業務遂行力を身につけ、3つのスキルをバランスよく兼ね備えた「自ら行動できる社会人」を育てる。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
工業	工業専門課程	ITスペシャリスト科		-	平成20年文部科学大臣 告示第15号		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
4	昼間	3405	2670	0	3960	0	0
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320		268		8	16	24	
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S:90点以上 A:80～90点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格 P:単位認定		
長期休み	■学年始: 4月1日～ ■夏季: 8月1日～8月31日 ■冬季: 12月23日～1月9日 ■学年末: 3月17日～3月31日		卒業・進級条件		進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。		課外活動		■課外活動の種類 インターンシップ、技術展示会見学、卒業作品展示会、ボランティア活動、海外研修旅行、体育祭、学園祭 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 富士通システムズ・イースト、中央コンピュータ、ソハル、ミロク情報サービス、NTTデータカスタマサービス、フイキューブ、第一情報システムズ、ATGS、オブティマ、セビックス、旭情報サービス、Klab、リコージャパン、防衛省自衛隊、FFRI、日本デジタル通信、日本キャスト、セラク、ニキョウ電子、外口など ■就職率^{※1} : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} : 90 % ■その他 帰国3名、アルバイト就業(本採用研修含む) (平成 27 年度卒業者に関する 平成28年5月1日 時点の情報)		主な資格・検定等		情報検定 マイクロソフトオフィススペシャリスト ビジネス能力検定 情報処理技術者試験 シスコ技術者認定		
中途退学の現状	■中途退学者 4名 平成27年4月1日時点において 在学者 278名 平成28年3月31日時点において 在学者 274名 ■中途退学の主な理由 進路変更(進学)、経済的理由(就業先決定)、病気治療 ■中退防止のための取組 担任と科長による面談。懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。		■中退率 1.4 % (平成27年4月1日入学者を含む) (平成28年3月31日卒業者を含む)				
ホームページ	http://www.neec.ac.jp/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

IT分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。またIT分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、学校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
木田 徳彦	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 人材委員会副委員長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	①
油谷 実紀	TIS株式会社 戦略技術センター長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	③
河野 浩	株式会社スマートデバイス・テクノロジー 代表取締役社長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	③
遠山 一明	日本工学院専門学校 副校長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	
坪井 勇次	日本工学院専門学校 カレッジ長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	
大矢 政男	日本工学院専門学校 科長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	
只埜 洋樹	日本工学院専門学校 教育・学生支援部 次長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間開催数は2回の予定、開催時期は9月及び3月の予定

(開催日時)

第5回 平成28年3月28日 10:00～12:00

第6回 平成28年9月14日 10:00～12:00

第7回 平成29年3月予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員会から、議事録は新入社員に書かせる企業も多く、文章を要約してまとめるスキルが直ぐに必要なため、新聞記事を要約させてる要望があった。現在キャリアデザイン科目で新聞記事要約の取り入れて授業内容を改善し反映させる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

IT分野に関する実践的な実習や演習を行うため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、または技術指導などを受けられる企業を選定する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

(株)デジタルアシストが新人企業研修で実際に使われている教材をもとにアプリケーション開発の授業展開をするにあたり、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。アプリケーション成果物が卒業制作につなげられるよう検証し、学生指導上での問題点、改善案を話し合う。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
ネットワークプログラミング1、2	WebアプリケーションやAndroidアプリケーションなどでよく使われているJava言語でプログラムの作り方を学ぶ。	エーピーシー情報有限会社
システム開発グループ演習1、2	グループに分かれて演習を通して、UMLをはじめとした設計手法を習得し実際にコーディングまで行い、GUI、DB、ネットワークを含めたシステムを構築できるようにする。	ソーシャルクルーズ株式会社
アルゴリズムとプログラミング	アルゴリズムについてLegoMindStormを使いながら学び、さらにはプログラミング言語を使用して実際にプログラムを作成する。	株式会社アフレル

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

平成28年3月30日(水)13:30～17:00 八王子キャンパスにて蒲田校、八王子校両校の専任教員、講師を対象に開催。
株式会社アフレル 渡辺登氏講演。LEGO MindStormsを用いて発想教育を効果的に取り入れる教育手法について研修を行う。
Eclipseにてサンプルソースの一部をJavaで追記してLEGO MindStormsの動作を実装し確認、またグループ毎にライトレースを実装し検証する研修を実施した。

②指導力の修得・向上のための研修等

平成28年3月30日(水)10:00～12:00 八王子キャンパスにて蒲田校、八王子校両校の専任教員がシステム開発系とネットワーク系の分科会に分かれて、今後の第4次産業革命やIoT化に向けたカリキュラムの見直しや教育指導方法等を向上させるための検討を実施した。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

平成29年3月(予定) 蒲田・八王子合同 テーマ「今後のクラウド環境の利活用と具体的なAzureを用いた導入事例(企業、学校関係)およびAzureハンズオン」。

②指導力の修得・向上のための研修等

平成29年3月(予定) 蒲田・八王子合同 テーマ「第4次産業革命やIoT化に向けたカリキュラムの見直しや教育指導方法等を向上させるための検討会」

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学科のカリキュラムや育成される人材等を企業等に所属する学校関係者から評価してもらい、専門科目以外にも一般科目におけるビジネスマナーや社会人基礎力養成等、次年度以降のカリキュラムに反映させている。また中期・長期にわたる学科の将来性について委員会等で引き続き項目を検討し、次世代に必要とされる人材教育の研究に役立てている。
昨年度の学校関係者評価に基づき、学校関係者から「企業連携等を強化し、専門学校の特徴である職業教育を充実させた方が良い」という意見があったので、本科では企業と連携した設計課題の作成を授業に取り入れ、地元大田区の企業の方を招いて講評会を実施して連携強化に取り組んだ。また、次世代に必要とされる人材教育の研究に役立てるため、連携企業における研修においても業界の最新情報を収集し、教員のスキルアップを図った。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

教員からの一方的な講義で知識を覚えるのではなく、学生たちが主体的に参加、仲間と深く考えながら課題を解決する力を養うのを目的としたグループワークなどを実施した方が良いと意見を受け、教員研修の実施や実習などを計画から実施するまでをグループで一貫して行い、今後の学生指導、カリキュラムの設定に反映させる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 代表取締役	平成28年4月1日～平成29年3月31日(1年)	IT企業等委員/ 卒業生委員
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役	平成28年4月1日～平成29年3月31日(1年)	地域関連/ 会計専門委員
工藤 俊一郎	公益財団法人 放送番組センター 顧問	平成28年4月1日～平成29年3月31日(1年)	クリエイターズ企業等 委員/卒業生委員
小澤 賢侍	CG-ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興 協会)教育事業部教育推進グループセクションチーフ	平成28年4月1日～平成29年3月31日(1年)	クリエイターズ/ デザイン企業等委員
浅野 和人	一般社団法人 大田工業連合会 事務局長	平成28年4月1日～平成29年3月31日(1年)	テクノロジー 企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	平成28年4月1日～平成29年3月31日(1年)	ミュージック 企業等委員
須賀 寛光	学校法人上野塾 東京実業高等学校 キャリアセンター長 進路指導副部長	平成28年4月1日～平成29年3月31日(1年)	学校関連

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()) 平成28年9月12日

URL: http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/17073/27_kobetsuhyoka_kmt.pdf (自己評価表)

http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/17073/28_kankeisyahyoka_kmt.pdf (学校関係者評価結果)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。

また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の現況、理念・目的・育成人材像、事業計画
(2) 各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3) 教職員	教員・教員組織
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5) 様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6) 学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7) 学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8) 学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	学校の現況、理念・目的・育成人材像、事業計画
(11) その他	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/17073/28_opendata_kmt.pdf

授業科目等の概要

(工業専門課程 ITスペシャリスト科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			コミュニケーション	グループ活動を想定した、人と人とのコミュニケーションの取り方を学びます。	1・前	15	1	○			○	○			
		○	キャリアデザイン1	就職するに当たっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。また、エントリーシート、履歴書の書き方から面接対策を学びます。	1・前	15	1	○			○	○			
		○	キャリアデザイン2		1・後	15	1	○			○	○			
○			プレゼンテーション	パソコンを使い、多くの人の前で発表する技術を身につけます。	1・後	30	1		△	○	○			○	
		○	スポーツ実習1	スキー、スノーボードの合宿などを体験します。	1・後	30	1			○	○	○			
○			外国語1	英語などを学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
○			パソコン組立て講座	パソコンの分解、組立て、OSのセットアップについて学びます。また、パソコンのトラブルに対応できるノウハウを養います。	1・後	15	1	○			○			○	
○			パソコンセットアップ概論	在学中に使用するノートパソコンのOS、アプリケーションソフトのインストール、各種環境設定を行います。	1・前	15	1	○			○		○		
○			コンピュータ・情報システム	コンピュータが動作するしくみ、企業での利用形態や信頼性を考慮したシステム構成について学びます。	1・前	60	4	○			○			○	
○			システム戦略とマネジメント	システム戦略とマネジメントについて学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			ネットワークとデータベース	ネットワークやデータベースの構成やサービス、基本的なメカニズムなどを学びます。	1・前	60	4	○			○		○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 ITスペシャリスト科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			コンピュータネットワーク	ネットワークの構成やサービス、基本的なメカニズムなど、コンピュータネットワークの全体像について学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
○			情報デザイン	情報デザインの基礎となる人間中心設計について学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
○			システム設計	システム開発過程における要求定義から内部設計までに必要とされる要求分析技法、各種設計技法の基礎を学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
○			情報系資格対策講座1	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。	1・前	15	1	○			○	○			
○			情報系資格対策講座2		1・後	90	6	○			○	○			
		○	基本情報対策講座1	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対策講座です。	1・後	45	3	○			○	○			
		○	資格対策講座1	各種検定資格の対策を行います。	1・前	30	2	○			○	○			
		○	特別講座1	様々な講師陣による特別講座を行います。	1・後	15	1	○			○				○
○			Office実習	コンピュータの基本操作や、基本情報技術者試験の科目にもなった表計算ソフトなどのアプリケーション操作を学びます。	1・前	90	3			○	○				○
○			Webデザイン	HTML・CSS・JavaScriptなどを使って、ホームページ制作について学びます。	1・後	30	1			○	○				○
○			データベース基礎	リレーショナル型データベースの構造や管理機能などデータベースの基礎を学びます。	1・後	60	2			○	○				○

授業科目等の概要

(工業専門課程 ITスペシャリスト科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			アルゴリズムとプログラミング	プログラムを作成する際に必要となるアルゴリズムについて学び、プログラミング言語を使用して、実際にプログラムを作成します。	1・前	90	3			○	○			○	○
○			プログラミング実習	「アルゴリズムとプログラミング」をベースに、より実践的なプログラミング技術を学びます。また、基本情報技術者試験の午後対策（擬似言語＋表計算マクロ）を行います。	1・後	90	3			○	○		○		
		○	校外研修 1	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	1・前	30	1			○		○	○		
		○	校外研修 2		1・後	30	1			○		○	○		
○			プログラミング講座	「アルゴリズムとプログラミング」をベースに、基本情報技術者試験の午後対策（擬似言語＋表計算マクロ）を行います。	1・後	30	2	○			○		○		
○			シスコ認定技術 1	シスコシステムズのWeb教材を使って通信プロトコルの概念を理解します。	1・後	90	3	○			○		○		
		○	キャリアデザイン 3	就職するに当たっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。また、エントリーシート、履歴書の書き方から面接対策を学びます。	2・前	15	1	○			○		○		
		○	キャリアデザイン 4		2・後	15	1	○			○		○		
○			ビジネススキル 1	仕事をする際に必要となる英語力、電話の応対、ビジネスメール、手紙のマナーなど、社会人に役立つビジネスマナーを身につけます。	2・後	30	2	○			○			○	
○			プレゼンテーションワークショップ	設定したテーマに対し、グループワークによる話し合い、役割分担、資料の作成、発表会の準備、発表などを体験します。	2・前	30	1			○	○			○	
		○	スポーツ実習 2	スキー、スノーボードの合宿などを体験します。	2・後	30	1			○		○	○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 ITスペシャリスト科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			外国語 2	英語などを学びます。	2・前	30	2	○			○		○		
○			情報セキュリティ	スパイウェア、不正アクセスなど、さまざまな不正行為とその対策や、企業の業務システムやコンピュータシステムを安全に利用するために求められる情報セキュリティについて習得します。	2・前	30	2	○			○		○		
○			問題解決技法	問題解決技法の種類を学び、演習を行うことで応用できるようになる講座です。	2・後	30	2	○			○		○		
○			ネットワークテクノロジー	最新のネットワークテクノロジーについて学びます。	2・後	30	2	○			○		○		
○			情報系資格対策講座 3	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。	2・前	45	3	○			○		○		
○			情報系資格対策講座 4		2・後	90	6	○			○		○		
○			基本情報対策講座 2	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対策講座です。	2・前	45	3	○			○		○		
		○	基本情報対策講座 3		2・後	45	3	○			○		○		
		○	資格対策講座 2	各種検定資格の対策を行います。	2・前	30	2	○			○		○		
		○	特別講座 2	様々な講師陣による特別講座を行います。	2・後	15	1	○			○		○		
○			Linux実習 1	LinuxOSのインストール、環境設定を行い、Linuxコマンドなどを使って基本操作を学びます。	2・前	60	2			○	○		○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 ITスペシャリスト科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			サーバ構築実習	Linux系の様々なサーバについて、その構築方法と運用管理方法について演習を通して学びます。	2・後	60	2			○	○		○		
○			データベース応用	リレーショナル型データベースの構築から操作までを実習を通じて学びます。	2・前	60	2			○	○			○	
○			オブジェクト指向プログラミング1	「オブジェクト指向開発演習1」と関連して、C++やJavaによるオブジェクト指向プログラミングの基礎を修得します。	2・前	90	3			○	○			○	
○			オブジェクト指向プログラミング2	「オブジェクト指向プログラミング1」をもとに、より応用的なプログラミング技術を学びます。	2・後	90	3			○	○			○	
○			オブジェクト指向開発演習1	オブジェクト指向の概念を学び、UMLによるオブジェクト指向的なモデリング方法などを学びます。	2・前	60	2			○	○			○	
○			オブジェクト指向開発演習2	「オブジェクト指向開発演習1」をもとにして、オブジェクト指向によるシステム設計手法を学びます。	2・後	60	2			○	○			○	
		○	校外研修3	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	2・前	30	1			○		○	○		
		○	校外研修4		2・後	30	1			○		○	○		
		○	光ファイバー接続講習	通信事業者による光ファイバーケーブルの接続、各種測定器の使用方法についての講習会を行います。修了証が授与されます。	2・後	15	1	○			○				○
○			シスコ認定技術2	シスコシステムズのWeb教材を使って通信プロトコルの概念を理解します。	2・前	90	3	○			○			○	
○			シスコ認定技術3		2・後	90	3	○			○			○	

授業科目等の概要

(工業専門課程 ITスペシャリスト科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			シスコ認定実習1	シスコ・ルータとシスコ・スイッチを使って、LANやWANを構築するための設定方法を学びます。	2・前	60	2	○			○			○	
○			シスコ認定実習2		2・後	60	2	○			○			○	
○			マーケティング	市場調査における効果的な情報収集の手段や収集した情報の分析手法を身に付けます。	3・前	30	2	○			○				○
○			キャリアデザイン5	就職するに当たっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。また、エントリーシート、履歴書の書き方から面接対策を学びます。	3・前	60	4	○			○			○	
○			キャリアデザイン6		3・後	60	4	○			○			○	
○			ビジネススキル2	仕事をする際に必要となる英語力、電話の対応、ビジネスメール、手紙のマナーなど、社会人に役立つビジネスマナーを身に付けます。	3・前	30	2	○			○				○
○			ビジネススキル3		3・後	30	2	○			○				○
		○	スポーツ実習3	スキー、スノーボードの合宿などを体験します。	3・後	30	1			○		○	○		
○			テスト技法	ソフトウェア開発やシステム運用管理におけるテスト技法について学びます。	3・後	30	2	○			○				○
○			システムリサーチ	身の回りにあるコンピュータシステムの仕組みを学び、これからの世の中で必要となるシステムについて検討します。	3・後	30	2	○			○				○
○			プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネージャーの業務ノウハウを学びます。	3・後	30	2	○			○				○

授業科目等の概要

(工業専門課程 ITスペシャリスト科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			情報系資格対策講座5	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を学びます。	3・前	45	3	○			○		○		
○			情報系資格対策講座6		3・後	90	6	○			○		○		
		○	基本情報対策講座4	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対策講座です。	3・前	45	3	○			○		○		
		○	基本情報対策講座5		3・後	45	3	○			○		○		
		○	資格対策講座3	各種検定資格の対策を行います。	3・前	30	2	○			○		○		
		○	特別講座3	様々な講師陣による特別講座を行います。	3・後	15	1	○			○			○	
○			システム開発グループ演習1	提示されたプロジェクト課題をもとに、プロジェクトの立ち上げから実行テストおよびプレゼンテーションまで、システム開発の一連のプロセスをグループワークで実験します。	3・前	90	3			○	○			○	○
○			システム開発グループ演習2		3・後	90	3			○	○				○
○			ネットワークセキュリティ実習	ルータやスイッチを使って、LANやWANを構築するための設定方法を学びます。	3・前	60	2			○	○			○	
○			アプリケーション開発1	プログラミング技法をもとに、アプリケーションの作成等を学びます。	3・前	60	2			○	○			○	
○			アプリケーション開発2		3・後	90	3			○	○			○	

授業科目等の概要

(工業専門課程 ITスペシャリスト科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	インターンシップ1	一定期間企業などの研修生として働き、自分の将来に関連のある職業体験を行います。	3・後	30	1			○	○	○			
		○	インターンシップ2		3・後	150	5			○	○	○			
		○	インターンシップ3		3・後	300	10			○	○	○			
		○	校外研修5	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	3・前	30	1			○	○	○			
		○	校外研修6		3・後	30	1			○	○	○			
○			モバイルアプリケーション開発1	モバイル機器上で動作するプログラムの作成方法、プログラミング技術に関して学びます。	3・前	60	2			○	○			○	
○			モバイルアプリケーション開発2		3・後	90	3			○	○			○	
○			ネットワークデザイン	ネットワークシステム構築の基礎となる情報システム、ルーティング、ネットワークの活用について学びます。	3・後	45	3	○			○			○	
○			ネットワークプロフェッショナル1	インターネットワーキングに必要な高度な知識を学びます。	3・前	60	4	○			○			○	
○			ネットワークプロフェッショナル2		3・後	60	4	○			○			○	
○			シスコ認定技術4	シスコシステムズのWeb教材を使ってネットワーク設計を理解します。	3・前	90	3			○	○		○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 ITスペシャリスト科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ネットワークプログラミング1	携帯電話でも使われているJavaでプログラムの作り方を学びます。	3・前	60	2			○	○			○	○
○			ネットワークプログラミング2	ネットワーク環境を得意とするJavaを用いてプログラムを作成します。	3・後	60	2			○	○			○	○
○			アドバンスドルーティング1	中小規模ネットワークの構築・管理に必要な高度なルータやスイッチの設定について学びます。	3・前	60	2			○	○			○	
○			セキュリティ実習1	シスコシステムズのルータやスイッチを用いたセキュリティ実習を行います。	3・前	60	2			○	○			○	
○			キャリアデザイン7	集団面接、グループディスカッションなどを行い大勢の中で意見を発言できるようにします。また、企業の仕組みや各種保険についても学びます。	4・前	90	6	○			○			○	
○			キャリアデザイン8		4・後	90	6	○			○			○	
		○	スポーツ実習4	スキー、スノーボードの合宿などを体験します。	4・後	30	1	○				○	○		
○			情報系資格対策講座7	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を学びます。	4・前	45	3	○			○			○	
○			情報系資格対策講座8		4・後	90	6	○			○			○	
		○	基本情報対策講座6	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対策講座です。	4・前	45	3	○			○			○	
		○	基本情報対策講座7		4・後	45	3	○			○			○	

授業科目等の概要

(工業専門課程 ITスペシャリスト科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	資格対策講座4	各種検定資格の対策を行います。	4・前	30	2	○			○	○			
		○	特別講座4	様々な講師陣による特別講座を行います。	4・後	15	1	○			○	○			
○			卒業制作1	在学中に学習したことを生かしてグループごとにテーマを決め、作品の製作や自由研究を行います。	4・前	270	9			○	○		○		
○			卒業制作2		4・後	270	9			○	○		○		
		○	インターンシップ4	一定期間企業などの研修生として働き、自分の将来に関連のある職業体験を行います。	4・後	30	1			○		○	○		
		○	インターンシップ5		4・後	150	5			○		○	○		
		○	インターンシップ6		4・後	300	10			○		○	○		
		○	校外研修7	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	4・前	30	1			○		○	○		
		○	校外研修8		4・後	30	1			○		○	○		
○			ネットワークプロフェッショナル3	インターネットワーキングに必要な高度な知識を学びます。	4・前	60	4			○	○			○	
○			卒業制作1	在学中に学習したことを生かしてグループごとにテーマを決め、作品の製作や自由研究を行います。	4・前	180	6			○	○		○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 ITスペシャリスト科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			アドバンスドルーティング2	中小規模ネットワークの構築・管理に必要な高度なルータやスイッチの設定について学びます。	4・後	60	2			○	○			○	
○			セキュリティ実習2	シスコシステムズのルータやスイッチを用いたセキュリティ実習を行います。	4・後	60	2			○	○			○	
合計					112 科目		6630 単位時間 (298単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業時に必修科目3360時間(163単位)取得および選択科目45時間(3単位)以上、合計3405時間(166単位以上)取得すること	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。